

東京電力HD（株）福島第一原子力発電所の廃止措置等に向けた中長期ロードマップ進捗状況

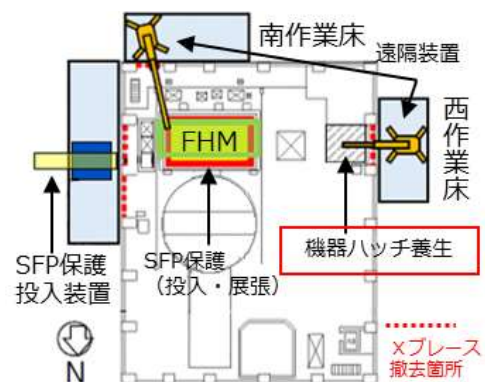
1. 使用済燃料プールからの燃料取り出しに向けた作業

【1号機】

◇燃料取り出し開始 2023 年度目途

◇作業状況

- ・使用済燃料プールはオペレーティングフロアの南側に位置しており、プール上部には天井クレーンや燃料取扱機が覆い被さっている。
- ・ガレキ撤去作業を行うにあたり、プール上部のガレキがプール内に落下してプール内の燃料を傷つけないように、事前にプールの保護を行う予定であり、現在プール周辺へのアクセスルートを確認するための作業を行っている。
- ・オペレーティングフロアの北側については崩落屋根の撤去作業を順次進めている。



【2号機】

◇燃料取り出し開始 2023 年度目途

◇作業状況

- ・使用済燃料プールからの燃料取り出しにあたっては、原子炉建屋オペレーティングフロアの壁・天井を解体撤去し、その後燃料取扱設備を設置する計画である。
- ・原子炉建屋内は線量率が非常に高いため、作業計画の立案にあたって、内部の状況を詳細に把握する必要がある。
- ・現在、遠隔操作ロボットを用いて、オペレーティングフロアの表面線量、空間線量等の測定を実施している。



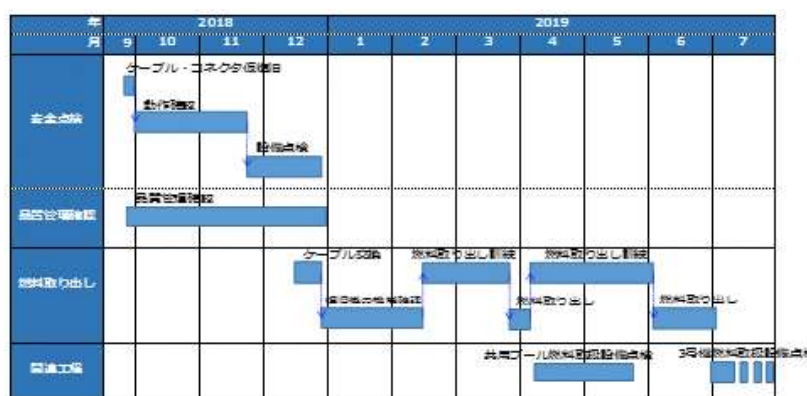
γカメラ撮影の様子

【3号機】

◇燃料取り出し開始 2018 年度中頃→燃料取扱設備の不具合を踏まえ
2019 年 3 月目途

◇作業状況

- 燃料取扱設備に不具合が発生したため、昨年の9月より設備の安全点検を実施してきた。安全点検では 14 件の不具合が確認され、1 月末までに対策を完了した。
- 今後は、設備復旧後の機能確認、燃料取り出し訓練を行った後、3月末の燃料取り出しを目標に作業を進めていく。



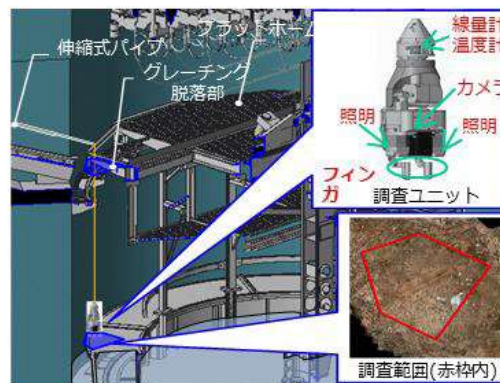
2. 燃料デブリ取り出しに向けた作業

◇初号機の燃料デブリ取り出し方法の確定 2019 年度

◇初号機の燃料デブリ取り出しの開始 2021 年内

【2号機】

- 2018 年 1 月に原子炉格納容器（PCV）内部調査を実施し、ペデスタル底部に燃料デブリと思われる堆積物があることを確認した。
- 2 月頃に追加の PCV 内部調査を予定している。今回は、堆積物の性状（硬さや脆さ）を把握するため、前回使用した調査ユニットを、フィンガを装備した構造に変更し、フィンガを堆積物に接触させる調査を実施する。



今回の調査場所及び調査ユニット

3. その他

【排気筒解体】

- 1 / 2号機排気筒は損傷・破断箇所があるため、リスクをより低減する観点から、遠隔解体装置を用いて排気筒上部を解体する計画である。
- 昨年8月から11月にかけて、構外で解体装置の実証試験（性能検証）を実施しており、解体計画に大きな課題がないことを確認した。
- なお更なる安全対策強化のために解体装置の改良やトラブル対応訓練等を実施した後、5月頃から排気筒の解体作業を開始する予定である。



実証試験の状況